

地域生活を共に考える集い

僕たちの結婚。そして、みんなに伝えたいこと。

2013. 7. 11 P&Aいしかり主催

ほっかいどういしかりし
北海道石狩市

うえはら しんじ うえはら ゆうこ
上原 真治 上原 祐子

うえはらしんじ
上原真治 (51歳)

げんざい ほっかいどういしかりし ゆうげんがいしゃ
現在、北海道石狩市の「有限会社ノース・ベスト・フ
ーム」で働いている。「札幌みんなの会」元会長。

ねん ふつうじどうしゃめんきょ しゅとく
2010年に普通自動車免許を取得。

うえはら きゅうせい あかぎ ゆうこ
上原 (旧姓・赤木) 祐子 (42歳)

げんざい ほっかいどういしかりし しゃかいふくしほうじん
現在、北海道石狩市「社会福祉法人はるにれの里レラ・

もうらい」のパート職員。結婚までは、株式会社イト

ーヨーカ堂に13年勤務。元東京さくら会。全日本

いくせいかい ほんにんむ しんぶん
育成会の本人向けの新聞「ステージ」の編集委員。



けっこんしき
結婚式でのケーキカット

わたしたちの結婚

はじめて知り合ったのが、全国大会 (徳島) の交流会でした。お付き合いするようになったのは、1998年に真治さんが札幌から東京のアパートに引越してきてからのことです。その頃、私は東京のグループホームに住んでいました。

二人の仕事が休みのときに、アパートに行ったり、デートをしたりしました。しかし、その翌年、真治さんは事情があって、北海道へ帰ることになりました。遠距離恋愛でも、電話や手紙のやりとりをしました。一年に一度は、真治さんが東京に来てくれました。それを6年続けました。

いつも真治さんは、私を大切にしてくれました。長くつきあっているうちに、「この人だったら、結婚できるかも」と思い、私からプロポーズをしました。さらに、「高価な指輪が欲しい……」

と無理なお願いまでしたところ、なんと私の願いをかなえてくれました！ 父親の強い反対がありました。上原さんの支援者・木村さんの熱心な説得によって結婚が実現し、私は北海道で上原さんと結婚生活をはじめました。(祐子さん)

結婚して良かったこと

結婚について、小さい頃から本当の親みたいに支援してくれた木村さん(社会福祉法人はるにれの里)に相談をしました。新しい生活に向けての話し合いを何度もしました。2003年3月に僕一人で石狩市内の一軒家に引越し、結婚生活の準備をはじめました。途中から犬(ヤマト)を飼いはじめ、そして一年後に、祐子と暮らすようになりました。

結婚して今年で8年です。お互い信頼してるし、趣味もほとんど同じで、気がつけばゲームもいっしょにやっていて、とても幸せです。ヤマトは子どものように二人で面倒を見ています。家計のやりくりは祐子がやってくれています。できることは二人で力を合わせて生活をしています。できないことは支援をしてくれる木村さんと納得がいくまで話し合います。

自分が苦しかった時代。僕には自分の願いを一緒に理解してくれる支援者がいなくて、心配や不安な気持ちでいっぱいでした。これが結婚によって、自分が守りたい人ができ、変わってきたのだと思います。仕事から帰ってくると、家に明かりがついているのでホッとします。やっぱり家族っていいもんですね。

僕には両親がいません。結婚して祐子のお母さんに会ったときは、ものすごく緊張しました。でも、今は祐子の実家に遊びに行ったり、お母さんが北海道に来て僕たちの家に泊まってくれます。本当の息子のように接してくれてうれしいです。(真治さん)

夢について

<真治さん>

僕は夢というよりも、一歩一歩が目標でした。養豚所に勤めて13年目になります。その中で結婚や10年勤続の表彰ももらいました。今では大切な業務の一部を任せてもらえるようになりました。僕がここまで変わったのは、祐子のおかげです。

みんなは、信頼できる人がそばにいますか？

僕は施設に13年いました。勇気を持って「自立しよう」と思いました。自分のやりたいことがあったら、それに向かって、支援者も、本人も、お互いの立場



結婚式に来てもらった人たちとの集合写真

になって話したり、考えたりしよう。

僕はこれまでの人生の中で、天国と地獄の両方を経験しました。たくさん迷惑もかけました。「石の上にも三年」といいますが、僕はもっと時間がかかりました。

今まで関わってくれたすべての人たちに感謝する気持ちを忘れずにがんばります。

<祐子さん>

私は、軽度のダウン症です。よくここまでがんばってこれたと思います。結婚生活も最初は大変でしたが、だいぶん慣れてきて、今では生活も順調です。料理も作ることが好きになり、作れる料理もふえました。パソコンもローマ字打ちやグラフもできます。スキルをあげ、いずれ資格をとりたと思っています。